	No.		_	2 事	多事業名	十四口	山体育館管理	里運営	事業 <mark>細事</mark>	務事	業名	十四山体	育館	管理運営	事業	公的関与		シート			平成31	年6月	20日
		課名		+	四山スホ	゚゚゚゚ーツセ	ンター	グル	<mark>ープ</mark>	施設		担	当	課長名	Ц	森隆彦	111	ンートイ	作成者	·名	飯	冢義-	子
	市	業区分		0 1ン	○ 1 ソフト事業 ○ 3 整備				事業 ●			設の管理	里運'	営	事業運営方法		1	直営			3 全	部委	託
	争未区		ח'	〇 2 旅	記設の建	建設 ○ 4 経常的			的事務事業						争未连	苦 刀	□ 2	一部	『委託 □		4 補助等		
				政策	目標	4 人力	が輝き文化か	ヾ薫る	やとみ	実施計画			画			事	業の	開始∙絹	冬了				
	総	合計	画	施策項目 スポーツの振興						○ 1該当				昭和	43 年度	₹ ~	平成	1	拝度 ☑	期間	設定	!なし	
				主要	施策	スポー	−ツ施設の整	備充足	実·有効活用		● 2 非該当												
٥	個	個別計画				•						<mark>──────────────────────────根拠法令等</mark>											
					対象	(誰を・	何を)		意図(ど						ういう状態にしたいのか)								
		i業σ 目的		市民				生涯スポーツの拠点として広く施設を利用してもらうことにより、スポーツの振興を図り、市民の健康づく											りに	資する。			
PLAZ	事業の 内容			十四山体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収、その他条例に定める管理運営に関する事業を行う。 【平成30年度利用者数】 十四山体育館 11,306人																			
		成果指標	1	指標名	体育施	設利用	者数						指標名										
	厄里			指標設 定の考 え方	当該施訂	殳の利月	用者数で成身	是を図る	3 .	単 位	人	(0)	指標設 定の考 え方								単 位		
	扫			平成	29 年度	平	成 30 年度	<u> </u>	平成 ※ 年度	目標	平成	30 年度	2	平成	29 年度	平成	30 年	度	平成	※ 年度	目標	P.成	30 年度
	村			日	11,613	実績目	11,306	目標			1	3,000		実績 目	実 績			目 標		*	目標		
				標	10,000	標標	*							標		標標	*						
	予算費目		目	会 計			一般会言	+		款	10	教育費				保健体育	費		目	3 十四	山ムホ	゚゚゚ーツセ	シター費
							平成	29	年度決算額			3	平成	30	年度決算	草額			平成	*	年度	予算	額
	直	4		県支出金					千円	9				_		千円							千円
	接			也方債					千円	9												千円	
	事	その化		也特定財	源				千円	9		千円								千円			
D	業費			般財源					2,071 千円			1,493 千円						千円					
0	費			†(A)					2,071 千円					1,493								千円	
		[Λπ ±b				1.000 人			1.000 人											
		井費 正聊		i負工数·	経 費				6,900 千円	9					6,900						<u>0</u> 千		
	(E	3)	臨時	職員工数·	経費		人		0 千円				人			千円			人				<u>+ : : -</u> 千円
	4			費(A+B		<u> </u>			8,971 千円						8,393 千円								<u> </u>
					_				,	-													

	チェック項目										−次	平価		一次評価の説明					二次評価					
		1.	市が実施しなく主体があり、事業					、他の実施	0	はい		€	いえ	中学校の 主ではあ	体育館と	しての)機能が	0	はい		いいえ			
	必	2.	厳しい財政状況の					い。	0	はい		€()	いえ	活動の振			0	はい	•	いいえ				
	要性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。									€	いえ	-る。				0	はい	•	いいえ			
		4.	住民ニーズの低 ⁻ ニーズを上回る ⁻	0	はい		€()	いえ				0	はい	•	いいえ									
		1.	施策の目的を実現	するために、	、事業内容	学が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	はい		€	いえ	スポーツ				0	はい	•	いいえ			
	有効	2.	事業内容のマンネリ	0	はい		€	いえ		している現状において、施設の 維持・管理は必要である。 ○ はい														
C	性	3.	市が実施する施設	0	はい		○ い	いえ					0	はい	•	いいえ								
H		4.	事業の継続をし	0	はい		€	いえ				0	はい	•	いいえ									
C		1.	目標設定に対し	0	目標	に比^	て劣って	こいる	中学校の	P学校の体育館としての利用以 〇 目標に比べて						片っている								
	達	2.	目標設定に対し	0	あまり	上がっ	ていない	١		クトにも、甲氏には頻繁に利用さ						ない								
	成度	3.	目標設定に対して	•	概ねぇ	達成し	ている			● 概ね達成している						る								
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。								達成し	ている							十分達成している					
		1.	. 効果に比べてコストが高い。									€	いえ		将来的に中学校の体育館として ○ はい						いいえ			
	効	2.	. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。								はい ● いいえ			■の用途変更を検討する必要があしる。					はい	•	いいえ			
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。									0 W	いえ		はい					0	いいえ			
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。									€	いえ	l			0	はい	•	いいえ				
						二次評価																		
	評価	E点.		有効性	達成原	隻	効率性	総合	平価		必	要性	7	有効性	達成	度	効率性	生	総	合評	価			
	今後	<u>د</u> س			3 K維持		3 方法改善	A ○ 民間委	許等		<u>∩</u> 4 :	<mark>4</mark> 拡大・3	在宝		3 ∵維持		3 方法改善	É		A 引委記	千 生			
			○縮小○				廃止/休止	O DOING				縮小		統合/終			廃止/休	_	O ZGI	+1 × 11				
A		二次評価での指摘事項(部長の総括											総括											
CTIO			十四山体育館はいる。	-	十四山体育館は昭和43年に建てられ、建築から50年を経過し各所に老朽化が進んでいる。平成17年には耐震補強工事を実施したが、さらに施設の安全性を確保するため大規模改修も必要になっており、計画的に改修事業に取り組む必要																			
N	課題のた改善	めの											確保するにの人院候以修も必要になっており、計画的に以修事業に取り組む。 がある。また、利用形態が中学校の体育館としての機能が主であるため、改賞際には中学校の体育館として用途変更を検討する必要がある。											
	備	考								•														